

## 7日 金曜

### 出エジプト



14:1 主はモーセに告げて仰せられた。  
14:2 「イスラエル人に、引き返すように言え。そしてミグドルと海の間にあるピ・ハヒロテに面したバアル・ツェフオンの手前で宿営せよ。あなたがたは、それに向かって海辺に宿営しなければならぬ。  
14:3 パロはイスラエル人について、『彼らはあの地で迷っている。荒野は彼らを閉じ込めてしまった。』と言うであろう。  
14:4 わたしはパロの心をかたくなにし、彼が彼らのあとを追えば、パロとその全軍勢を通してわたしは栄光を現わし、エジプトはわたしの主であることを知るようになる。」そこでイスラエル人はそのとおりにした。  
14:5 民の逃げたことがエジプトの王に告げられると、パロとその家臣たちは民についての考えを変えて言った。「われわれはいったい何ということをしたのだ。イスラエルを去らせてしまい、われわれにさえさせないとは。」  
14:6 そこでパロは戦車を整え、自分でその軍勢を率い、  
14:7 えり抜ききの戦車六百とエジプトの全戦車を、それぞれ補佐官をつけて率いた。  
14:8 主がエジプトの王パロの心をかたくなにされたので、パロはイスラエル人を追跡した。しかしイスラエル人は臆することなく出て行った。  
14:9 それでエジプトは彼らを追跡した。パロの戦車の馬も、騎兵も、軍勢も、ことごとく、バアル・ツェフオンの手前、ピ・ハヒロテで、海辺に宿営している彼らに追いついた。  
14:10 パロは近づいていた。それで、イスラ

エル人が目を上げて見ると、なんと、エジプト人が彼らのあとに迫っているではないか。イスラエル人は非常に恐れて、主に向かって叫んだ。

14:11 そしてモーセに言った。「エジプトには墓がないので、あなたは私たちを連れて来て、この荒野で、死なせるのですか。私たちをエジプトから連れ出したりして、いったい何ということをお私たちにしてくれたのです。」

14:12 私たちがエジプトであなたに言ったことは、こうではありませんでしたか。『私たちのことはかまわないで、私たちをエジプトにさえさせてください。』事実、エジプトに仕えるほうがこの荒野で死ぬよりも私たちに良かったのです。」

14:13 それでモーセは民に言った。「恐れてはいけません。しっかり立てて、きょう、あなたがたのために行なわれる主の救いを見なさい。あなたがたは、きょう見るエジプト人をもはや永久に見ることはできない。」

14:14 主があなたがたのために戦われる。あなたがたは黙っていなければならない。」

主はイスラエルを約束の地に導き入れることを決めておられましたが、そのプロセスをも考えておられました。イスラエルははじめ南の方に向かいましたが、そこは紅海がさらに広くなり、仮に海が割れたとしても渡れることはできなかったでしょう。また北は容易に進むことができたが、それではパロの軍隊に簡単に追跡されますし、場合によっては簡単にエジプトに引き返すことにもなりかねません。

主は紅海を渡るという道を考えておられ、そのためにこの理解しがたい場所に宿営するように命じられたのです。主の導きに信頼しましょう。理今は理解できないことでも、想像をはるかに超え

る主のわざに期待しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

